

鹿児島大学憲章

鹿児島大学は、日本列島の南に位置し、アジアの諸地域に開かれ、海と火山と島々からなる豊かな自然環境に恵まれた地にある。この地は、我が国の変革と近代化を推進する過程で、多くの困難に果敢に挑戦する人材を育成してきた。このような地理的特性と教育的伝統を踏まえ、鹿児島大学は、学問の自由と多様性を堅持しつつ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす。

教 育

鹿児島大学は、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う。

鹿児島大学は、真理を愛し、高い倫理性と社会性を備え、向上心を持って自ら困難に立ち向かい、国際社会で活躍しうる人材を育成する。

研 究

鹿児島大学は、個々の研究を重視するとともに、種々の学問分野における優れた研究者の連携により、21世紀を先導する研究者を育成する。

鹿児島大学は、地域の要請に応える研究を展開するとともに、普遍性を求める研究活動を推進し、世界水準の研究拠点をめざす。

社会貢献

鹿児島大学は、南九州を中心とする地域の産業の振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する。

鹿児島大学は、アジアや太平洋諸国との連携を深め、研究者や学生の双方向交流および国際共同研究・教育を推進し、人類の福祉、世界平和の維持、地球環境の保全に貢献する。

大学運営

鹿児島大学は、学長のリーダーシップのもと、全構成員が運営に責任をもって参画することにより、教育研究環境の充実を図る。

鹿児島大学は、大学の自治を^{いしづえ}礎とし、常に自己点検・評価を行うとともに、外部からの意見を積極的に反映させ、透明性の高い公正な大学運営を行うことにより、社会への責任を果たす。

2007年11月15日 制定

鹿児島大学教育目標

鹿児島大学は、進取の気風にあふれる総合大学として、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指す。そのために次の教育目標を掲げる。

1. 幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ、諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。
2. 豊かな人間性と倫理観を身につけ、向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養う。
3. 地域における活動に積極的に関わり、社会の発展に貢献できる行動力を養う。
4. グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む。

鹿児島大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

鹿児島大学は、教育目標に定める人材を育成するため、次のような学生を求めています。

1. 鹿児島大学の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力や考える力と意欲をもつ人
2. 人間としてのモラルを大切にし、教養をより高めようとする人
3. 知的向上心に富み、専門職業人として社会に貢献することをめざす人
4. ボランティアやインターンシップをはじめ、広く具体的体験に積極的に取り組む意志をもつ人

各学部・学科等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

法文学部

教育目標

法文学部は、情報化、国際化および地域の変化に伴う諸問題に適切に対処できる現実的な問題解決能力をもつ人材の育成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

法文学部の求める人材像

- (1) 人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を備えている人
- (2) 地域社会と世界の間人・文化・社会に関心をもつ人
- (3) 現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得に意欲のある人
- (4) 大学で自分の将来および可能性を探求する意欲のある人

入学前に身につけておいて欲しいこと

入試で課されている教科を中心とした幅広い基礎学力

- (1) 国語の基礎学力
- (2) 外国語の中でも特に英語の基礎学力
- (3) 地歴・公民における社会科学の基礎知識
- (4) 数学の基礎学力
- (5) 理科における自然科学の基礎知識
- (6) その他学科の特色に応じて求められる能力

入学者選抜の基本方針

大学入試センター試験では幅広い基礎学力が身につけているかどうかを判定します。

個別学力検査では学科ごとの教育内容と入試の特色に応じて必要な意欲・関心につき判定します。

【法経社会学科】

教育目標

法経社会学科は、社会科学に関する基礎的体系的な知識を修得し、幅広い視野の下で身につけた法学、社会学、経済学などの社会科学の素養を、地域の問題発見と課題解決に積極的に活用できる人材の育成を目標としています。

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

〈前期日程〉〈後期日程〉

- (1) 社会科学の幅広い知識の修得を目指している人
- (2) 地域社会や国際社会における問題発見と、その問題解決に関心のある人
- (3) 社会の抱える問題に強い関心をもち、主体的に学習する姿勢をもっている人

入学前に身につけておいて欲しいこと

〈前期日程〉〈後期日程〉

- (1) 国語・英語の学習による読解力および表現力
- (2) 社会科学を学ぶ上で必要な地理歴史・公民、理科の基礎知識
- (3) 数学の基礎学力とその学習による論理的思考能力

入学者選抜の基本方針

〈前期日程〉

大学入試センター試験とともに、個別学力検査として国語・外国語を課すことにより、社会科学の学習に必要な基礎学力・読解力・思考力を有している入学者を選抜します。

〈後期日程〉

大学入試センター試験を課すとともに、個別学力検査として、法学コースでは、面接試験を行い、地域社会コースおよび経済コースでは、小論文を課します。法学コースでは、学習意欲、社会の諸問題に対する高い関心、基礎的な表現力を有している入学者を選抜します。地域社会コースおよび経済コースでは、広く社会の諸事象に対して関心をもち、読解能力や説明能力の優れた入学者を選抜します。

〈法学コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

〈前期日程〉 〈後期日程〉

- (1) 社会の仕組みや外国語を学ぶうえで必要な基礎学力に加え、地歴・公民分野における高等学校教科書レベルの知識を備える人
- (2) 法学および政治学の専門的知識の体系的な学習とともに、外国語および多様な学問分野を横断した幅広い知識の修得に意欲のある人
- (3) 問題発見・解決能力を踏まえて、実践的な法解釈力、政策立案能力を向上させ、国際知識を修得することに意欲がある人
- (4) 社会規範を尊重し、地域・社会貢献に意欲がある人
- (5) 法および政治に関わる社会的問題について強い興味と関心をもち、主体的に継続して学習できる人

入学前に身につけておいて欲しいこと

〈前期日程〉

- (1) 国語と外国語の学習による読解力と表現力
- (2) 地歴・公民や理科の学習による、法学・政治学・政策学を学ぶ上で必要となる基礎知識
- (3) 数学の学習による論理的思考能力

〈後期日程〉

- (1) 国語と外国語の学習による読解力と表現力
- (2) 地歴・公民や理科の学習による、法学・政治学・政策学を学ぶ上で必要となる基礎知識
- (3) 数学の学習による論理的思考能力
- (4) 日常的に新聞や書籍を読むことによる高い社会的関心

入学者選抜の基本方針

〈前期日程〉

大学入試センター試験での幅広い基礎学力を測ることと併せて、個別学力検査において国語と外国語を課し、読解力、思考力を測ることにより選抜を行います。

〈後期日程〉

大学入試センター試験での幅広い基礎学力を測ることと併せて、個別学力検査では面接試験を課し、学習意欲と論理的思考能力、社会の諸問題に対する関心の高さ、基礎的な表現力を測ることにより選抜を行います。

〈地域社会コース・経済コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

〈前期日程〉〈後期日程〉

地域社会コース・経済コースは、国際化の進展に伴い複雑化・多様化する経済社会のなかで地域社会からの要請に応えることができる人材の養成を教育目標にしています。具体的には、情報を創造的に活用し、地域的・国際的な視野から問題を発見し解決することのできる人材を求めています。

- (1) 高等学校までの基礎的な学習内容をしっかりと修得している人
- (2) 地域的および国際的な社会・経済問題に対して常に関心をもち、解決しようという意欲のある人
- (3) 新しい課題に積極的に取り組み、自らを成長させようという意欲のある人

入学前に身につけておいて欲しいこと

〈前期日程〉〈後期日程〉

- (1) 国語・英語の読解力・表現力
- (2) 地理歴史・公民，理科の基礎知識
- (3) 数学の基礎学力

入学者選抜の基本方針

〈前期日程〉

大学入試センター試験のほかに、個別学力検査として国語と外国語を課し、基礎学力および思考力に優れた入学者を選抜します。

〈後期日程〉

大学入試センター試験のほかに、個別学力検査として小論文を課し、広く社会の諸事象に対して関心をもち、読解能力や説明能力の優れた入学者を選抜します。

【人文学科】

教育目標

地域および世界の多元的な文化、歴史、環境への深い造詣に基づき、広い視野に立って、地域社会と国際社会の課題を実践的に解決できる人材、人間の心と行動への深い造詣に基づき、心理的支援によって地域に貢献できる人材、心理学の知見を活用し産業・行政分野で貢献できる人材の養成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

〈前期日程〉

- (1) 日本を含む世界各地の文化・歴史・環境や人間の心と行動について学ぶ強い意欲を持つ人
- (2) 学習する上で必要となる言語能力や思考力、および基礎的学力を備えている人
- (3) 批判的分析力を身につけている人
- (4) 社会や歴史、思想、文化、環境、科学に関する基礎知識を幅広く習得している人
- (5) 事象を論理的に考察し数理的に処理する能力を備えている人

〈後期日程〉

- (1) 日本を含む世界各地の文化・歴史・環境について学ぶ強い意欲を持つ人
- (2) 批判的分析力、論理的思考力、表現力を備えている人
- (3) 学習する上で必要となる言語能力を身につけている人
- (4) 社会や歴史、思想、文化、環境に関する基礎知識を幅広く習得している人
- (5) 数理的処理の基礎を学んでいる人

入学前に身につけておいて欲しいこと

〈前期日程〉〈後期日程〉

- (1) 国語と外国語の学習による言語能力や論理的思考力、批判的分析力
- (2) 地理歴史や公民、理科の学習による社会や歴史、思想、文化、環境に関する幅広い基礎知識
- (3) 数学の学習による数理的処理の基礎

入学者選抜の基本方針

〈前期日程〉

大学入試センター試験のほか、個別学力検査として国語と外国語を課し、人文学科で学習する上で必要となる言語能力や思考力、数理的処理能力、および基礎的学力が身についているかという点を重視して選抜します。

〈後期日程〉

大学入試センター試験のほか、小論文を課し、批判的分析力、論理的思考力、表現力を重視して選抜します。

〈多元地域文化コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

〈前期日程〉

- (1) 日本を含む世界各地の文化・歴史・環境について学ぶ強い意欲を持つ人
- (2) 学習する上で必要となる言語能力や思考力、および基礎的学力を備えている人
- (3) 批判的分析力を身につけている人
- (4) 社会や歴史、思想、文化、環境に関する基礎知識を幅広く習得している人
- (5) 数理的処理の基礎を学んでいる人

〈後期日程〉

- (1) 日本を含む世界各地の文化・歴史・環境について学ぶ強い意欲を持つ人
- (2) 批判的分析力、論理的思考力、表現力を備えている人
- (3) 学習する上で必要となる言語能力を身につけている人
- (4) 社会や歴史、思想、文化、環境に関する基礎知識を幅広く習得している人
- (5) 数理的処理の基礎を学んでいる人

入学前に身につけておいて欲しいこと

〈前期日程〉〈後期日程〉

- (1) 国語と外国語の学習による言語能力や論理的思考力、批判的分析力
- (2) 地理歴史や公民、理科の学習による社会や歴史、思想、文化、環境に関する幅広い基礎知識
- (3) 数学の学習による数理的処理の基礎

入学者選抜の基本方針

〈前期日程〉

大学入試センター試験のほか、個別学力検査として国語と外国語を課し、人文学科で学習する上で必要となる言語能力や思考力、および基礎的学力が身についているかという点を重視して選抜します。

〈後期日程〉

大学入試センター試験のほか、小論文を課し、批判的分析力、論理的思考力、表現力を重視して選抜します。

〈心理学コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

〈前期日程〉

- (1) 人間の心と行動について学ぶ強い意欲を持つ人
- (2) 学習する上で必要となる言語能力や思考力、および基礎的学力を備えている人
- (3) 批判的分析力を身につけている人
- (4) 事象を論理的に考察し数理的に処理する能力を備えている人
- (5) 社会や歴史、思想、文化、環境、科学に関する基礎知識を幅広く習得している人

入学前に身につけておいて欲しいこと

〈前期日程〉

- (1) 国語と外国語の学習による言語能力や論理的思考力、批判的分析力
- (2) 数学の学習による数理的処理の基礎
- (3) 地理歴史や公民、理科の学習による社会や歴史、思想、文化、環境に関する幅広い基礎知識

入学者選抜の基本方針

〈前期日程〉

大学入試センター試験のほか、個別学力検査として国語と外国語を課し、人文学科で学習する上で必要となる言語能力や思考力、数理的処理能力、および基礎的学力が身につけているかという点を重視して選抜します。

教育学部

教育目標

鹿児島大学の教育目標や教育学部の目的をうけて、教育学部では、次のような人材の育成を目標とする。

学校教育を取り巻く諸課題に対して、理論的かつ実践的に探究することのできる高度な専門性と豊かな人間性を兼ね備えた教育者

学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程では、教職に関する高度な専門性と優れた実践的指導力を有し、次世代を担う児童・生徒の育成に貢献できる教員の育成を教育目標にしている。

特別支援教育教員養成課程

特別支援教育教員養成課程では、特別支援教育に関する高度な専門性を有し、特別支援教育の充実と発展に貢献できる教員の育成を教育目標にしている。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

教育学部では、「学校教育を取り巻く諸課題に対して、理論的かつ実践的に探求することのできる高度な専門性と豊かな人間性を備えた教育者」の育成を目的としています。このようなことから、次のような人を求めています。

- (1) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校や特別支援学校の教員になりたいという志望が強く明確な人
- (2) 入学後に修める専門的な知識・技能を身につけるのに必要とされる基礎的な能力を備えている人
- (3) 教員になるための専門的な学習や実習等に積極的に取り組む意欲が旺盛な人
- (4) 児童・生徒や周囲の人々とのコミュニケーションを豊かに保とうとする意欲をもつ人
- (5) 自分人間性を高めるために、たゆまず持続的に努力する人

入学前に身につけておいて欲しいこと

学校教育に関わる教員は、専門とする分野以外にも幅広い教養と学力を身につけることが求められてい

ます。また、本学部では教育実習をはじめ様々なかたちで人と関わる機会が多々あります。そのため、入学に際し以下のことを身につけておくことが望まれます。

- (1) 学校教育の教員として必要な知識を学ぶための幅広い基礎学力
- (2) 学校現場での実習に際し児童・生徒の模範となれる規範意識
- (3) 規則正しい生活習慣
- (4) 様々な人と関わるための基本的マナー
- (5) 身近な事柄を知識と結びつける能力や、他者と協働する姿勢

入学者選抜の基本方針

前期日程では、大学入試センター試験の科目を課すとともに、個別学力検査で各課程・コースに応じて国語、数学、外国語、実技等のうちから必要な科目等を課し、基礎学力、思考力、技能等を評価します。

後期日程では、大学入試センター試験の科目を課すとともに、個別学力検査で各課程・コースに応じて小論文、実技等のうちから必要な科目等を課し、基礎的な理解力、問題意識、学習意欲、社会への関心度、技能等を評価します。

【学校教育教員養成課程】

求める人材像

人間を取り巻く物理的・社会的環境の急激な変化やますます多様化する価値観の変化のなか、学校教育の場で活躍しようとする教員にはこれまでも増して幅広い視野と高度の専門性が求められています。

学校教育教員養成課程においては、学校教育における各教科等に対応する種々の専門分野のいずれか1つに対する高度の専門性を身につけると同時に、広く社会を見渡す確かな視座と学習者の多様なニーズに可能な限り応えられる、幅広く確かな教養の両方を備えることが強く求められます。したがって、学校教育教員養成課程では、次のような人を求めています。

- (1) 子どもと関わることを好み、「教育」の問題に情熱を注げる人
- (2) 自分の得意とする専門分野において高い関心をもち、学校教育に関連して、その分野における知見や技術の一層の高度化に高い意欲をもつ人
- (3) 人間生活全般への鋭い問題意識をもち、子どもの発達に対する援助者、文化の確かな伝達者として子どもや自分自身の可能性を高めることに力を発揮できる人
- (4) 自分の得意分野だけでなく、幼稚園、小学校、中学校、高等学校および特別支援学校等、学校教育の教員としての実践的指導力に関わる幅広く確かな基礎学力を有している人

入学前に身につけておいて欲しいこと

本課程は、小学校教員一種免許状または中学校教員一種免許状を取得し、将来教育に携わる人材の育成を目的としています。在学中に教育に関する様々な知識・技能を学ぶとともに、附属学校等において児童・生徒や教員と関わる機会が多くあります。そのため、入学に際して以下のことを身につけておくことが望まれます。

- (1) 学校教育の教員として必要な専門知識を学ぶための幅広い基礎学力
- (2) 学校現場での実習に際し児童・生徒の模範となれる規範意識
- (3) 規則正しい生活習慣
- (4) 様々な人と関わるための基本的マナー
- (5) 多様な課題に自律的に取り組む姿勢

入学者選抜の基本方針

学部の〈入学者選抜の基本方針〉を参照

【特別支援教育教員養成課程】

求める人材像

特別支援教育教員養成課程は、特別支援学校のみならず、小学校、中学校、高等学校における特別支援教育推進の中核を担う教員の養成をめざします。特別支援教育の対象となる子どもの様子や障害の程度は

多岐にわたることから、その指導も個別指導から全ての子どもが同じ教室で配慮を受けながら学ぶインクルーシブ教育にいたるまで多様な形態の中で行われます。これらの指導の場においては、障害のある子どもに関わっていくための深い洞察力と俊敏な実践力、さらにその前提として教科指導の確かな力が、ますます問われています。このようなことから、本課程においては、次のような人を求めています。

- (1) 子どもの発達を信頼して、子どもの側に立って支援に取り組める人
- (2) 障害と社会の関係に目を向け、その問題の解決に取り組む意欲をもつ人
- (3) 確かな問題意識をもち、子どもの発達に対する援助者、文化の伝達者として、子どもや自分自身の可能性を高めることに力を発揮できる人
- (4) 特別支援教育を推進する教員としての実践的指導力を支える幅広い専門的知識や技能、論理的な思考の習得に明確な意志をもつ人

入学前に身につけておいて欲しいこと

本課程は、小学校または中学校教員免許状を取得した上で、特別支援学校一種免許状を取得し、広く障害児教育に関わる人材の育成を目的としています。入学後の専門教育を飛躍させるために、以下のことを身につけておくことが望まれます。

- (1) 特別支援教育の教員として必要な専門知識を学ぶための幅広い基礎学力
- (2) 生命を大切に思い、愛情をもって人と接する態度
- (3) 様々な人と関わるための基本的マナー
- (4) 多様な課題を論理的、能動的に解決しようとする姿勢

入学者選抜の基本方針

学部の〈入学者選抜の基本方針〉を参照

理 学 部

「理学」は、自然現象の中に潜む真理を探究する学問であり、そこで明らかにされた自然法則は人類の英知や文化の中に蓄積され、科学技術の発展を支えてきました。こうして現代社会は豊かなものになりましたが、豊かさの裏では環境やエネルギーなどに関する新たな課題も生じました。このような問題を解決するためにも、真理の探究と共に、物事の原理を基礎から理解する「理学」のさらなる進展は不可欠です。鹿児島大学理学部は南九州という自然に恵まれた地理的特色を生かしながら、基礎科学を中心とする自然科学の最新の教育・研究を進めます。

教育目標

理学部は多様な科学的問題に対応できる幅広い課題探求能力の育成を図ることを目標とし、次のような人材の育成を目指します。

- (1) 自然科学の専門知識と幅広い教養を併せもち、論理的科学的思考力を身に付けた人
- (2) 学問の高度化や多様化に柔軟に対応できる、創造力のある人
- (3) 社会性、国際性、学際性が豊かで、先端科学の知識と問題解決能力を身に付けた人
- (4) 高い倫理観をもって人類の幸福と福祉に貢献できる人

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 自然科学に関する基礎的な知識と理解力を備えており、数学と理科に高い学力を有する人
- (2) 課題の発見と解決に積極的に取り組み、知的好奇心や探究心の旺盛な人
- (3) 広い学問的視野と適応性を兼ね備えて、自然と調和の取れた科学の発展に貢献できる人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語、外国語等の基礎学力に加えて、各学科で必要とされる数学と理科の高い学力を身につけてください。分からないことがあれば積極的に調べ、それでも分からないときは質問する

習慣を身につけてください。

- (2) 高等学校で学ぶ教科の学習や、課外活動などのさまざまな体験を通じて、論理的な思考能力と表現力を身につけてください。

入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験によって基礎学力が身についているかを判定し、個別学力検査によって各学科で必要とされる数学と理科及び外国語の高い学力が身についているかを判定します。
- (2) 一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験によって基礎学力が身についているかを判定し、面接によって論理的思考能力及び表現力を判定します。

【数理情報科学科】

教育目標

数理情報科学科では、数学および数学を基盤とした情報科学や統計科学について講義・演習・セミナー・計算機実習等を通じて学びます。情報科学や統計科学を含む高度な数学を学ぶことにより、創造的かつ柔軟な思考力をもつ人材の育成を目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 数学やそれに関連する学問分野に興味をもつ人
- (2) 強い勉学意欲をもつ人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民の基礎学力に加えて、数理情報科学科で行われる専門教育を理解するために数学に関する高い学力を身につけてください。
- (2) 高等学校で学ぶ教科の学習や、課外活動などのさまざまな体験を通じて、論理的な思考能力と表現力を身につけてください。

入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験によって国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民の基礎学力が身についているかを判定し、個別学力検査によって数学及び外国語の高い学力が身についているかを判定します。
- (2) 一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験によって国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民の基礎学力が身についているかを判定し、面接によって自然科学に関する基礎知識と論理的思考能力および表現力を判定します。

【物理科学科】

教育目標

物理的な考え方を学び、それに基づいた洞察力・創造力・応用力を養います。また、実験や観測および理論的な考察を通じた問題解決能力を高めます。それらを通して、広い視野と合理性を持ち社会に貢献できる人材を育成します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 物理の実験や天体観測に興味をもつ人
- (2) 新しい現象の発見や物質の探索に挑戦したい人
- (3) 新しい装置の製作や開発に取り組みたい人
- (4) コンピュータを用いた物理現象・天体現象の解明に興味がある人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民の基礎学力に加えて、物理科学科で行われる専門教育を理解するために物理学を中心に自然科学に関する高い学力を身につけてください。
- (2) 高等学校で学ぶ教科の学習や、課外活動などのさまざまな体験を通じて、論理的な思考能力と表現力を身につけてください。

入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験によって国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民の基礎学力が身につけているかを判定し、個別学力検査によって物理学、数学及び外国語の高い学力が身につけているかを判定します。
- (2) 一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験によって国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民の基礎学力が身につけているかを判定し、面接によって自然科学に関する基礎知識と論理的思考能力および表現力を判定します。

【生命化学科】

教育目標

生命化学科では、化学と生物学の基礎を修得し、物質の構造と機能を、分子レベルから生物固体レベルまで、総合的に理解する能力を育成します。また、講義、実験および卒業研究をとおして、課題に取り組む研究態度、問題設定とその解決能力、物事に創造的かつ柔軟に対応できる能力を育成します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 自然科学における広い基礎学力をもち、総合的な学力の修得に興味と意欲をもつ人
- (2) さまざまな現象を、科学的かつ多面的に観察する探究心をもつ人
- (3) 観察事実を的確に表現・提示する能力の開発に意欲をもつ人
- (4) 科学的現象を基本事項から説き起こし、論理的に考察し説明する能力の開発に意欲をもつ人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民の基礎学力に加えて、生命化学科で行われる専門教育を理解するために数学、化学、生物学および物理学に関する高い学力を身につけてください。
- (2) 高等学校で学ぶ教科の学習や、課外活動などのさまざまな体験を通じて、論理的な思考能力と表現力を身につけてください。

入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験によって国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民の基礎学力が身につけているかを判定し、個別学力検査によって数学または理科、及び外国語の高い学力が身につけているかを判定します。
- (2) 一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験によって国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民の基礎学力が身につけているかを判定し、面接によって自然科学に関する基礎知識と論理的思考能力および表現力を判定します。

【地球環境科学科】

教育目標

自然環境を理解する上での基礎科学として、地球科学、生物学、分析化学などの分野を幅広く修得し、卒業研究を通じていずれかの専門分野を深く探求する中で、論理的な思考を養うと共に、的確に情報を発信できる能力を育成します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 「理科」（自然科学）の分野に強い興味と好奇心をもつ人
- (2) 自然環境に関心をもち、科学的に自然環境を観察し分析できる人
- (3) 室内での実験・観察だけでなく、野外での観察や調査にも強い興味をもつ人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語・外国語等の基礎学力に加えて、数学または理科の高い学力を身につけてください。分からないことがあれば積極的に調べ、それでも分からないときは質問する習慣を身につけてください。
- (2) 高等学校で学ぶ教科の学習や、課外活動などのさまざまな体験を通じて、論理的な思考能力と表現力を身につけてください。

入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験によって国語・外国語・数学・理科・地理歴史、公民の基礎学力が身についているかを判定し、個別学力検査によって数学または理科、及び外国語の高い学力が身についているかを判定します。
- (2) 一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験によって国語・外国語・数学・理科・地理歴史、公民の基礎学力が身についているかを判定し、面接によって論理的思考能力および表現力を判定します。

医学部

教育目標

医学部は、全人的医療を実践しうる医療人の育成並びに独創的研究を行える研究者及び優れた指導者の育成を目的とします。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

学部の求める人材像

- (1) 思いやりのある人
- (2) 幅広い基礎知識を有する人
- (3) 人の生命や社会に深い関心をもつ人
- (4) 探究心があり、物事に積極的に取り組む人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 基礎的な学力
- (2) コミュニケーション能力
- (3) 医療への関心
- (4) 人を思いやる心
- (5) 物事に対する責任感
- (6) 探究心
- (7) 論理的な思考力

入学者選抜の基本方針

一般入試前期日程では、大学入試センター試験、個別学力試験により高校の学習の到達度を評価します。医学科では、医師としての適性を判定するために面接試験も実施します。

一般入試後期日程では、大学入試センター試験、小論文および面接により基礎学力ならびに適性を判定します。

【医学科】

教育目標

以下の能力をともに有した人材を育成します。

- (1) 人を尊重し、人と地域社会のため最善の医療を実践する優れた臨床医
- (2) 科学的思考力を有し、生涯学習し、医学、医療及び社会の発展に貢献する医師及び医学研究者

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

学科の求める人材像

高校で学ぶ理科，数学，外国語，国語，社会の基礎学力と学校と社会生活の中で養った資質として，

- (1) 自然界や人間社会についての幅広い基礎学力と問題解決力
- (2) 医療や医学，生命科学などに対する関心
- (3) 地域や国際社会への関心と社会に貢献する意欲
- (4) 互いを尊重し，思いやりいたわる心
- (5) 話を正確に聞き，自分の意見を論理的に伝える能力
- (6) 学習意欲があり，自主的に学習する力と習慣を備えている人

入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語，数学，理科，社会，外国語などの幅広い基礎学力のほか，保健体育，芸術，技術家庭などの教養，特に理科，英語の高い知識・能力が必要となります。また，総合学習や問題基盤型学習を行う能力を身につけておくことも必要です。

入学者選抜の基本方針

選抜方法

高校の学習の到達度は，大学入試センター試験，個別学力検査で評価します。その他の必要とする資質・能力は，面接，小論文で評価します。前期日程では大学入試センター試験，個別学力検査，面接で，後期日程では大学入試センター試験，小論文，面接で選抜します。

【保健学科】

教育目標

豊かな倫理性を背景として，科学的思考力と他者に対する想像力に富み，患者と地域社会に貢献できる医療を実践するための思考力，判断力及び積極的実行力を有する看護師，保健師，理学療法士及び作業療法士を養成します。

（看護学専攻）

看護学専攻は，豊かな人間性と幅広い教養，科学的・批判的思考力を養うことにより，人々の健康と福祉の向上に貢献し，進取の精神で看護学を発展させていくことのできる看護の専門職者を育成します。さらに，グローバルな視点を持ち，離島・へき地を含めた地域医療の発展に寄与できる人材を育成します。

（理学療法学専攻）

理学療法学専攻では，豊かな人間性を持ち，医の倫理を守り，人の尊厳を重視した優秀な医療専門職者や研究者を育成します。また，最先端の医学的知識や心理・社会的知識を統合し，心身の障害の回復と予防に対する取り組みができる人材を育成します。更に，教育・研究者としての教養と知識を有し，次代の指導的役割を担う人材を育成します。

- (1) 豊かな教養と生命への畏敬を身につけた，愛情豊かな人間性を持つ専門職者を育成します。
- (2) 高度な専門的知識と技術を身につけ，科学性と創造性に富む柔軟な思考力を持つ専門職者を育成します。
- (3) 医療チームの一員として協調し，地域医療に貢献できる能力を持つ専門職者を育成します。
- (4) 専門性の確立を目指し，他領域の専門職と連携できる学際的能力を持つ専門職者を育成します。

- (5) 生涯を通して、科学的探究心を継続できる習慣・態度を持つ専門職者を育成します。
- (6) 幅広い社会活動や国際医療活動ができる能力を持つ専門職者を育成します。

(作業療法学専攻)

作業療法学専攻では、生命の尊厳を理解し、心身に障害をもつ人々の生活支援を行うために必要な豊かな人間性と倫理観を持った作業療法士を育成します。また、高度な専門的知識と技術を身につけ、社会の変化と多様なニーズに応じて、優れた作業療法を実現できる能力を備えた人材を育成します。更に、科学的思考及び学際的思考で作業療法を捉え、将来の作業療法学の発展に寄与できる指導者及び教育者を育成します。

- (1) 豊かな感性を持ち、人間性豊かな作業療法士を育成します。
- (2) 高度な専門的知識と技術を身につけ、科学的根拠に基づく柔軟な判断能力と問題解決能力を有する作業療法士を育成します。
- (3) チーム医療を担う一員として、職種間の相互理解を深めながら緊密な連携を実践できる作業療法士を育成します。
- (4) 医療・保健・福祉のニーズに幅広く対応でき、また地域に貢献できる作業療法士を育成します。
- (5) 指導者及び教育者としての基礎的能力を持った作業療法士を育成します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

学科の求める人材像

- (1) 人を愛し、病める人のいたみを理解できる人
- (2) チームワークに必要な協調性をもつ人
- (3) 保健や医療に深い関心を持ち、医療専門職への強い意欲のある人
- (4) 保健学を学ぶために、幅広い基礎学力を有する人
- (5) 探究心があり、物事に積極的に取り組むことができる人
- (6) 地域社会や国際社会に関心のもてる人

(看護学専攻)

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

専攻の求める人材像

- (1) 幅広い教養と豊かな人間性・倫理性を有する人
- (2) 看護対象者の主体性と多様な価値観を尊重できる看護専門職者をめざす人
- (3) チーム医療を推進するための協調性と責任感を有する人
- (4) 基礎学力をそなえ、学ぶ意欲にあふれる人
- (5) 物事の本質を科学的・批判的に考え抜く思考力を身につける意欲にあふれる人
- (6) 広く世界に目を開き、医療の抱えるさまざまな課題に果敢に取り組むチャレンジ精神を有する人

(理学療法学専攻)

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

専攻の求める人材像

- (1) ヒューマニズムに富み、倫理性豊かで、社会貢献に意欲のある人
- (2) 保健や医療に深い関心を持ち、理学療法士への強い意欲のある人
- (3) 医療チームの一員として協調し、地域医療に貢献できる能力を持つ人
- (4) 生涯を通じて、科学的探究心を継続できる習慣・態度を持つ人
- (5) 幅広い社会活動や国際医療活動ができる能力を持つ人

(作業療法学専攻)

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

専攻の求める人材像

- (1) ヒューマニズムに富み、倫理性豊かで、社会貢献に意欲のある人

- (2) 保健や医療に深い関心を持ち、作業療法士への強い意欲のある人
- (3) 医療チームの一員として協調し、地域医療に貢献できる能力を持つ人
- (4) 生涯を通じて、科学的探究心を継続できる習慣・態度を持つ人
- (5) 幅広い社会活動や国際医療活動ができる能力を持つ人

入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの幅広い基礎学力のほか、人に関心を持ち思いやる態度、物事を論理的に探求する態度が必要となります。

入学者選抜の基本方針

選抜方法

入学者選抜については、前期日程では大学入試センター試験により、高等学校で学ぶ国語、数学、理科、地理歴史、公民、外国語の幅広い基礎学力が身に付いているかどうかを、個別学力検査で理科、英語を課し、論理性と思考力を判定します。後期日程では、大学入試センター試験、小論文および面接により基礎学力ならびに適性を判定します。

歯学部

教育目標

歯学部は、「歯科医療人である前に良識豊かな人間であれ」という理念のもとに、下記の教育目標を達成します。

- (1) 全人的歯科医療を実践しうる歯学分野における幅広い知識と創造性に富む歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成
- (2) 地域医療に貢献しうる幅広い識見と人間性豊かな使命感にあふれる歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成
- (3) 国際社会においても卓越した貢献をなしうる歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 生命への強い関心、人間としてのモラル、奉仕精神にあふれる人
- (2) 歯科医学の知識や技能を十分理解・修得できる基礎学力のある人
- (3) 歯科医学に興味を持ち、科学的探究心の豊かな人
- (4) 幅広い視野と柔軟な感性を持ち、常に考え行動する資質のある人
- (5) 歯科医療人として社会に貢献しようとする強い意欲を持つ人

入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語、数学、理科、地歴、公民、英語などの幅広い基礎学力のほか、特に数学、理科、英語の高い知識・能力

入学者選抜の基本方針

大学入試センター試験では、幅広い基礎学力が身についているかどうかを判定します。

個別学力検査では、教育内容と入試の特色に応じて必要な学力や意欲・関心・適性にに基づき判定します。

工学部

教育目標

知識基盤社会を先導する工学部は、高度な専門職業人の養成教育において、ひとりひとりの学生が自ら向上心をもって主体的に学修し、困難に立ち向かう「自主自律と進取の精神を有する学士（工学）」の育成を

目指します。そのため、次の教育の目標を掲げます。

- (1) 「ものづくり」において地域社会及び国際社会で活躍できる技術者・研究者を目指す学生に、幅広い教養と高度な専門能力を育みます。
- (2) 獲得した知識や技術等を統合的に活用することにより、人類社会や文化と自然との調和ある発展に貢献する能力を養います。
- (3) 高度な工学技術や知識を、実社会における課題解決のために応用できる創成能力を養います。
- (4) 豊かな人間性と普遍的な倫理観に基づき、自ら向上心をもって次代を切り拓く力を養います。
- (5) 社会的な責任を担いつつ、グローバルな教養人として生涯にわたって自己研鑽に取り組む力を養います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

工学部は、本学部の教育目標に共感できる次のような人を、国内外から広く求めています。

- (1) 工学部の学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人
- (2) 工学の面白さを学びたい、ものづくりに取り組んでみたい、技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人
- (3) 自ら考え、主体的に学修する目的意識が明確で、そのための学修意欲が高い人

入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に各学科での専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験で5教科7科目、個別学力検査で数学、理科及び外国語を課し、基礎学力・思考力などを評価し、全学科間で第2・第3志望を認めて選抜します。
- (2) 一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験で3教科5科目、個別学力検査で小論文を課し、基礎学力・論理的思考力などを評価し、全学科間で第2・第3志望を認めて選抜します。

【機械工学科】

教育目標

次世代を担う技術者・研究者を育成するため、以下を教育目標にしています。

- (1) 人類の幸福と福祉、エネルギーと環境、人間と社会などの調和を洞察できる能力を身に付けます。
- (2) 国際的な場で活用できる外国語の基礎的な能力を身に付けます。
- (3) 数学や自然科学の基礎の基に、工学的基礎に関する知識を身に付けます。
- (4) 機械工学の基礎学力を修得し、それらを問題解決に活用できる能力を身に付けます。
- (5) 機械工学の知識を総合的に応用して、工学的問題を自主的に分析し解決するデザイン能力を身に付けます。
- (6) 調査、討論、発表などを通じて自らの課題を発見し、それを解決する能力を身に付けます。
- (7) 自己の能力を主体的に生涯にわたって継続して向上できる能力を身に付けます。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

機械工学科では、次世代を担う技術者・研究者の育成を目指しており、次のような人を国内外から広く求めています。

- (1) 機械工学科の学位授与の方針を達成できる基礎学力を有し、論理的・物理的思考に対する素養がある人
- (2) 機械工学に大いに興味があり、真摯に学ぼうとする意欲、向上心・探究心にあふれる人
- (3) 高等学校生活等で培われた精神力と協調性があり、科学的発想などに豊かな感性がある人

入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語（英語）などの基礎学力のほか、中でも機械工学科の専門教育に対応できる数学、理科（特に物理）の知識と能力が必要となります。

入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験で5教科7科目、個別学力検査で数学（数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）と理科（物基・物、化基・化から1）及び外国語（コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ）を課し、基礎学力・思考力等を評価します。
- (2) 一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験で3教科5科目、個別学力検査で小論文を課し、基礎学力・論理的思考力を評価します。

【電気電子工学科】

教育目標

工学部の教育目標を受けて、電気電子工学科では次のような人材（技術者・研究者）の育成を目標としています。

- (1) 基盤となる基礎教育を身につけ、発展的に将来の科学技術の進展に柔軟に対応する能力を養います。
- (2) 地球環境に配慮した高度情報化社会の基盤を支え、科学技術の発展と人類の幸福に貢献できる広範かつグローバルな思考力を養います。
- (3) 電気電子工学に関する知識に基づいて、論理的な思考、技術の応用と創造、問題の発見と解決ができる能力を養います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材

電気電子工学科では、次のような向学・研究心あふれる人を求めています。

- (1) 電気電子工学科の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力・意欲をもつ人
- (2) 研究・応用分野での最先端の知識・実践力を身につけ、社会で活躍したい人
- (3) 国際的コミュニケーション能力を身につけ、国際的に活躍したい人

入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に電気電子工学科での専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験で5教科7科目、個別学力検査で数学（数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）、理科（物理基礎・物理、または化学基礎・化学から1科目選択）及び英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ）を課し、基礎学力・思考力などを評価し選抜します。
- (2) 一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験で3教科5科目、個別学力検査で小論文を課し、基礎学力・論理的思考力などを評価し選抜します。

【建築学科】

教育目標

包括的な教育を基盤とした建築学総合プログラムとして、次の具体的な教育目標を掲げています。

- (1) 技術者の使命感と倫理観
建築技術者としての使命感と倫理観を持って建築を考える能力を養う。
- (2) 工学の基礎知識・能力
建築技術を理解するための工学の基礎能力を養う。
- (3) 建築の基礎知識・能力
建築における基本的な考え方と基礎的な建築技術を理解して応用できる能力を養う。
- (4) 建築の高度な知識・能力
高度な建築技術を理解して建築の設計へ応用できる基礎能力を養う。
- (5) 自主的・継続的学習能力とエンジニアリング・デザイン能力
新しい建築文化や建築技術の創造へつながる自主的・継続的学習能力およびエンジニアリング・デザイン能力（必ずしも正解の無い複合的な課題に対して、創造的かつ効果的な解決策を提示できる能力）を養う。

- (6) 多面的に考える能力
幅広い視野に立って多面的に建築を考えることができる素養を身につける。
- (7) コミュニケーション能力とチームで仕事をするための能力
建築に関する国内外の活動の場でコミュニケーションができる基礎能力とチームで仕事をするための能力を養う。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

建築の役割は、個々の建物から都市までを対象として、学術と技術と芸術の3つの面を融合して、人々に快適な空間を創造することです。建築学科では、数学、理科、語学、地理歴史、公民に関する基礎学力を有し、科学と芸術と社会の広い分野に関心を持つ次のような学生を求めています。

- (1) 建築を造りたいという情熱を持っている人
- (2) 建築と人間や社会や環境との関係に興味がある人
- (3) 建築デザインの分野で能力を活かしたいと考えている人
- (4) 安全で美しい建築を造る技術に関心のある人

入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、建築学科での専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験で5教科7科目、個別学力検査で数学、理科及び外国語を課し、基礎学力・思考力などを評価し選抜します。
- (2) 一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験で3教科5科目、個別学力検査で小論文を課し、基礎学力・論理的思考力などを評価し選抜します。

【環境化学プロセス工学科】

教育目標

工学部の教育目標を受けて、環境化学プロセス工学科では次のような人材（技術者・研究者）の育成を目標としています。

- (1) 人類の持続可能な共生社会創出のため、国際的視野から多様な地域社会に寄与できる豊かな人間性、社会性、高い倫理観をもつ人材
世界的な視点から文化・自然環境・地域社会を多面的に考え、より豊かで持続可能な人類社会の創出に寄与する科学技術の役割とその倫理的責任を良く理解した技術者・研究者になる。
- (2) 自然科学の基礎知識と教養、および確かな化学工学専門知識に基づく設計と応用によって人類社会に貢献できる人材
自然・数理科学及び技術に関する基礎知識と化学及びその関連分野の専門技術に関する应用能力を涵養し、専門技術者として工学的諸問題を解決できる技術者・研究者になる。
- (3) チーム内での役割を制約下で果たし、地域の文化や風土および産業と調和した工学技術をデザインできる人材
多様な地域社会の文化・風土・産業をよく理解し、それらと調和した化学工学技術を与えられた制約内で設計し、チーム内での役割を果たせる能力を備えた技術者・研究者になる。
- (4) 国際的な情報交換と協調および生涯にわたる自己研鑽によって、社会の要請する新技術の開拓に積極的に貢献できる人材
科学や技術の進歩に対応して自発的に研鑽し生涯学習に努め、多くの専門分野の人々と日本語ならびに英語による文書・口頭あるいは情報メディア等による基本的かつ効率的なコミュニケーションができる技術者・研究者になる。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

環境化学プロセス工学科ではアドミッションポリシー（入学者受入方針）として、本学科の教育目標

の観点から、化学、物理、数学、英語についての基礎的能力を有している次のような学生を求めています。

- (1) 環境と調和した社会の創出に共感し、それを実現するための科学の基礎知識と意欲をもつ人
- (2) 化学工学的視野から公共の福祉や持続可能な人類社会の創出に自主的、継続的に貢献する意欲のある人
- (3) コミュニケーション力や協調性を養い、世界に視野を向けて様々な問題に取り組むことに関心のある人
- (4) 化学工学の専門技術を身につけ、高い倫理観をもって研究開発を通して地域社会へ寄与することをめざす人

入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に本学科の専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験で5教科7科目、個別学力検査で数学、理科及び外国語を課し、基礎学力・思考力などを評価し選抜します。
- (2) 一般入試（後期課程）では、大学入試センター試験で3教科5科目、個別学力検査で小論文を課し、基礎学力・論理的思考力などを評価し選抜します。

【海洋土木工学科】

教育目標

海洋土木工学科は、以下に示す幅広い視野と高い倫理観及び海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学に関する豊富な知識・判断力を有する人材（技術者・研究者）を養成することを目的としています。そのため、次の教育目標を掲げます。

- (1) 人類の幸福と福祉について考えることのできる能力を養成します。
- (2) エネルギーと環境、人間と社会の持続的な調和を考えることのできる能力を養成します。
- (3) 地域社会及び国際社会においてコミュニケーションができる能力を養成します。
- (4) 数学や自然科学の基礎と工学基礎に関する知識を活用できる能力を養成します。
- (5) 土木工学の基礎知識を工学的デザインに活かし、持続的な社会の発展に貢献できる能力を養成します。
- (6) 海洋環境の開発と保全について総合的判断ができる能力を養成します。
- (7) チームによる調査・討論・発表などを通じて、地域社会の課題を自主的に発見し、それを分析・解決できる能力を養成します。
- (8) 卒業後も主体的に学習を継続できる能力を養成します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

海洋土木工学科は、海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学に関する豊富な知識・判断力を有する人材の育成をめざしています。このような観点から、本学科では次のような学生を求めています。

- (1) 高等学校で学ぶ数学・理科などの基礎学力を十分にもち、論理的思考の好きな人
- (2) 持続可能な国土・海洋の開発と保全に関する話題に関心を持ち、関連分野で活躍したい人
- (3) 自然環境と人間社会との調和・共生に関わる技術開発に興味と情熱をもつ人

入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に海洋土木工学科での専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験で5教科7科目、個別学力検査で数学（数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B）、理科（物基・物、化基・化から1）及び外国語（コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ）を課し、基礎学力・思考力などを評価し選抜します。
- (2) 一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験で3教科5科目、個別学力検査で小論文を課し、基礎学力・論理的思考力などを評価し選抜します。

【情報生体システム工学科】

教育目標

次世代を担う技術者・研究者を育成するために以下を教育目標としている。

- (1) 技術者の使命と倫理
豊かな人間性と社会性を備え、自然科学、工学および情報技術の発達が社会と自然におよぼす影響と技術者の責任についてグローバルな視点から理解し、考えられる人材
- (2) 基礎学力
情報生体システム工学の基礎となる数学、物理学や情報システム基礎などの基礎学力を身につけ、その知識を問題解決のために応用できる人材
- (3) ソフトウェアの知識と応用力
プログラミング、ソフトウェア工学とその関連分野の理論と応用を学び、プログラミング能力とソフトウェア開発のための能力を持つ人材
- (4) 情報システムの知識と応用力
計算機システム、情報ネットワークとその関連分野の理論と応用を学び、システムを構築できる人材
- (5) 情報生体システム工学の専門知識と応用力
情報システムや認知・生体システムにおけるより専門性の高い知識と応用を学ぶことができる人材
- (6) コミュニケーション能力
正しい日本語による論理的記述力、発表能力、コミュニケーション能力や、英語による基本的なコミュニケーション能力を持つ人材
- (7) デザイン能力
現状分析と問題点抽出のための情報収集能力や自主的で継続的な学習姿勢と、解決に至る計画を自ら立案し遂行できる人材

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

情報生体システム工学科は、本学科の教育目標に共感できる次のような人を、国内外から広く求めています。

- (1) 情報生体システム工学科の学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人
- (2) 工学の面白さを学びたい、ものづくりに取り組んでみたい、技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人
- (3) 自ら考え、主体的に学修する目的意識が明確で、そのための学修意欲が高い人

入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に情報生体システム工学科での専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

入学者選抜の基本方針

- (1) 一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験で5教科7科目、個別学力検査で数学、理科及び外国語を課し、基礎学力・思考力などを評価し、全学科間で第2・第3志望を認めて選抜します。
- (2) 一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験で3教科5科目、個別学力検査で小論文を課し、基礎学力・論理的思考力などを評価し、全学科間で第2・第3志望を認めて選抜します。

【化学生命工学科】

教育目標

次世代を担う技術者・研究者を育成するために以下を教育目標としています。

- (1) 豊かな人間性と社会性による倫理観を備え、国際的視野のもと、自然・環境の摂理と諸科学の基礎知識を吸収して共生する能力を養成します。
[人類の共生]（人間性、倫理観、基礎科学、人類と自然の共生）
- (2) 数学、工学基礎や情報処理技術、そして化学工学に関する基礎知識と能力を養成します。
[基礎推進能力]（工学基礎；情報技術、化学工学）
- (3) 応用化学の、特に分子工学と材料化学の基礎知識を柔軟に駆使し、新材料やバイオ技術の創製と評価に生かせる継続的な創造能力を養成します。

- [持続的成長] (専門基礎と専門；分子工学，材料化学，バイオ技術，化学計測)
- (4) 日常的・国際的コミュニケーション能力を養成します。
- [コミュニケーション能力] (プレゼンテーション，外国語，実用英語，文献検索・整理)
- (5) フレッシュマンセミナー，学生実験，演習，卒業研究・講座ゼミ，学外実習・工場見学等を通じ，与えられた要求に対して，知識・技術を駆使して総合的に判断し，実現可能な解決方法を提案できるデザイン能力を養成します。
- [総合的判断・デザイン能力] (卒業研究，学外経験，地域問題，継続的学習能力)

入学受入方針 (アドミッション・ポリシー)

求める人材像

化学生命工学科では，化学の知識を役立てることにより，地球環境や生命との調和を図りつつ人類社会の持続的発展に寄与できる人材の育成をめざしています。特に化学・生物・物理についての十分な学力を有し，勉学意欲があり，広範な視野と柔軟性を備え，積極性に富む次のような学生を求めています。

- (1) 新物質や機能材料の創製に意欲のある人
- (2) バイオテクノロジーに興味をもち，医薬や医用材料の創製に意欲のある人
- (3) 分析や化学計測に関心をもつ人
- (4) 環境保全やエネルギーなどに興味をもつ人

入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語，地歴，公民，数学，理科，外国語などの基礎学力のほか，専門教育に対応できる数学，理科の知識と能力が必要となります。

入学選抜の基本方針

- (1) 一般入試 (前期日程) では，大学入試センター試験で5教科7科目，個別学力検査で数学，理科及び外国語を課し，基礎学力・思考力などを評価し選抜します。
- (2) 一般入試 (後期日程) では，大学入試センター試験で3教科5科目，個別学力検査で小論文を課し，基礎学力・論理的思考力などを評価し選抜します。

農学部

教育目標

南九州という多様な自然環境と生物資源に恵まれた地域の特性を活かし，フィールド等での実践的な教育を重視し，豊かな人間性と広い視野，応用・実践能力，国際性を備えた農林業，食品産業等及び食住農関連分野の技術者・指導者などの育成を目指します。

入学受入方針 (アドミッション・ポリシー)

求める人材像

鹿児島大学農学部は，次のような学生を国内外から広く求めています。

- (1) 農林業や食料生産，環境保全，生命科学の農学関連分野に強い関心を持ち，将来これらの分野で活躍をめざす意欲のある人
- (2) 自然科学の幅広い知識と外国語の基礎的な学力を備え，知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の修得に意欲のある人
- (3) フィールドでの教育に強い関心を持ち，農学に関する実務・実技能力の向上をめざす人
- (4) グローバル化する産業社会に参画し，地域社会，国際社会に貢献することをめざす人

入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語などの幅広い基礎学力のほか，特に数学，理科の高い知識・能力が必要となります。

入学者選抜の基本方針

一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験に加え、個別学力検査を課し、基礎学力及び思考力を評価し選抜します。

一般入試（後期日程）では、大学入試センター試験成績による幅広い学力の確認に加えて、小論文形式によって、理論的思考力、記述・表現力、外国語能力を評価し、総合的に選抜します。

【農業生産科学科】

教育目標

農業生産科学科は、日本の主要な農業生産地帯である南九州を教育の場とし、農業生産における動植物の育種、栽培や飼養管理、農畜産物の利活用に関する知識と技術を身につけ、高品質な食料の安定供給や付加価値の高い農畜産物の創出に貢献できる人材の育成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

農業生産科学科の求める人材像

- (1) 英語、理科、数学の十分な基礎学力を備えている人
- (2) 植物の栽培、動物の飼育、生物・化学実験もしくは調査に意欲のある人
- (3) 農畜産物の生産・流通・消費に関心を持つ人
- (4) 農村地域や農村社会に関心を持つ人
- (5) 農作物や家畜の生産に関わる新技術やバイオテクノロジーに関心を持つ人
- (6) 海外の農畜産業や食料資源に関心を持つ人

【食料生命科学科】

教育目標

食料生命科学科は、食品の安全確保、食品の栄養生理・機能と健康との関わり、微生物をはじめ生物機能の利用に関する知識と技術を身につけ、食に関係する分野および地域産業として特色のある焼酎・発酵食品産業で活躍できる人材の育成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

食料生命科学科の求める人材像

- (1) 化学と生物学の十分な基礎学力を備えている人
- (2) 物事に自発的に取り組み、実験や研究に意欲のある人
- (3) 動植物・微生物の生命現象や食の安全、食品の機能性、発酵食品などに関心のある人

【農林環境科学科】

教育目標

農林環境科学科は、地域農林資源の利活用および森林や農地の保全と防災に関する知識と技術を身につけ、自然と調和した農林業生産の基盤づくりおよび農山村の振興や生活環境の維持と創出に貢献できる人材の育成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

農林環境科学科の求める人材像

- (1) 数学、物理、化学、生物、地学、地理歴史、公民、外国語の基礎学力を備えている人
- (2) 地域資源を利用した農業や林業の振興、森林や農地といった国土の整備・保全のための勉学に意欲を持つ人

農学部・水産学部 国際食料資源学特別コース

教育目標

東南アジア・南太平洋・アフリカを中心とした国際社会を対象として、食料資源の持続的生産とその合理的利用の分野の専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画し、国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材を育成することを目指します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 国際食料資源学特別コースの教育目標に共感し、その実現に向けて考える力と意欲を持つ人
- (2) 国際的視点に立った食料・資源問題の解決に熱意と意思を持つ人
- (3) 実用的な英語力の強化に意欲のある人
- (4) 学ぶことに努力を惜しまず、社会の持続的発展に取り組む意欲を持つ人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語（読解、文章表現）、英語、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ）の基礎学力
- (2) 国際食料資源学特別コースでは、2年次以降、農学および水産学のうち食料資源利用に関わる専門科目を修得していきます。専門科目修得のためには地理歴史、公民、生物、化学等の学力が要求されます。これらの科目は1年次に取得できますが、理解するための基礎学力が必要です。

水産学部

教育目標

水産学部は専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備えた水産技術者を社会に送り出すために、以下の教育目標を掲げます。

1. 鹿児島から東南アジア・南太平洋を含む水圏をフィールドとして、水産資源の持続的生産とその合理的利用及び水圏環境の保全・管理の分野の専門知識を修得した人材の育成
2. 豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画する人材の育成
3. 地域社会と国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材の育成

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 海洋環境や水圏の生物に興味を持ち、水産業の基盤である海洋環境や水圏に生息する生物の特性と両者の相互作用についての基礎科学を学び、学校教育や環境教育の現場あるいは海洋環境と生物に関する調査・保全に関わる機関で働きたい人
- (2) 水産資源の生産管理や増養殖に興味を持ち、水産資源とその採捕・管理及び増養殖に関する理論と技術について学び、漁業技術産業、増養殖産業あるいは水産資源の開発・管理や増養殖に係る公的機関で働きたい人
- (3) 水産食品や水産資源の先進利用に興味を持ち、水産資源の食品としての利用と機能性化成品などへの先進的な利用について学び、食品・化学品製造業及び製薬業ならびにそれらの関連分野で働きたい人
- (4) 水産政策や水産物流通に興味を持ち、水産政策と水産物流通・経済に関連する知識と技術について学び、水産流通業や食品産業、水産系公務員、水産系金融、漁業系統機関などで働きたい人
- (5) 水圏環境の保全に興味を持ち、赤潮、有機汚染、有害化学物質汚染（人為的ネガティブインパクト）、水圏環境の保全と修復について学び、環境アセスメントや関連分野及び公的機関で働きたい人
- (6) 水産教員、海技士、水産ジェネラリスト、グローバル人材として働くために必要な職業能力を強化したい人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語（読解，文章表現），英語，数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ）の基礎学力が必要です。
- (2) 専門科目修得のためには，各教育分野に対応した科目（生物，化学，物理，地学等）の学力が要求されます。これらの科目は1年次に習得できますが，理解するための基礎学力が必要です。

入学者選抜の基本方針

一般入試（前期日程）では，大学入試センター試験に加え，個別学力検査を課し，基礎学力及び思考力を評価し選抜します。

一般入試（後期日程）では，大学入試センター試験成績による幅広い学力の確認に加えて，小論文形式によって，論理的思考力，記述・表現力を評価し，総合的に選抜します。

共同獣医学部

教育目標

共同獣医学部は，国際水準の獣医学教育を体系的に創出・実践するとともに，学際協力により深い知識と高度な技術を備えた専門性の高い獣医師を養成し，幅広い見識と倫理観を持って人間社会の質的向上に貢献できる能力を培い，問題解決能力と自己資質を向上させる能力を涵養することで，地域に根ざすとともに社会のニーズに対応した，人間地球社会を俯瞰できる人材を輩出することを教育目標としています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

発展・進化する獣医科学に取り組む知識欲と探求心，これを実践・活用する論理性と創造力，及びチーム活動と共生社会形成のためのコミュニケーション能力の素養を備えた，次のような学生を求めています。

- (1) 獣医師の幅広い職責について理解し，獣医学を志す明確な目的意識を有する人
- (2) 自然科学，人文・社会科学及び語学に関する基礎教科を満遍なく学習し，獣医学の知識や技術を十分に理解，修得するための基礎学力を身につけている人
- (3) 人と動物の健全な共生社会実現のために積極的に取り組む意思を有し，社会的にコミュニケーションがとれる人

入学前に身につけておいて欲しいこと

大学入試センター試験及び個別学力検査で課す教科・科目における十分な基礎学力と思考力が必要になります。また，小論文及び面接においては自分の考えを明確に表現する能力を身につけておく必要があります。

入学者選抜の基本方針

- ・前期日程：大学入試センター試験で5教科7科目を課すとともに，個別学力検査で数学及び理科を課し，基礎学力，思考力を評価します。
- ・後期日程：大学入試センター試験で3教科5科目を課すとともに，個別学力検査では面接調書を作成して面接を課し，基礎学力，志望動機，勉学意欲，理解力，表現力，適性を評価します。